

拝島駅前自治会60周年を祝して

昭島消防署長 島津 幸廣

拝島駅前自治会が、昭和25年に「上拝島町会」として発足され、この度創立60周年の良き日を迎えられることに対しまして、衷心よりお祝いを申し上げます。

この間、歴代役員及び各会員の皆様が取り組んでこられた一つひとつの事業が、安全で安心して暮らせる昭島市を創り上げる礎となっていることに、深く敬意を表したいと思います。

特に、消防防災行政に関しましては、日頃より深いご理解とご協力を賜っておりますことに加え、「自助」「共助」の精神を共有され、地域防災力の向上を常に図っていただいておりますことに、改めまして心より感謝を申し上げたいと思います。

さて、昭和25年当時、拝島村の人口は7,634名で、拝島村消防団8箇分団、団員335名が村内の消防を担っておりました。その後、昭和29年に昭和町と合併したことで昭島市となり、現在の人口は約113,000名と大きく躍進し、消防体制も昭島市消防団4箇分団84名の精鋭と車両5台に加え、平成10年に立川消防署から独立誕生した昭島消防署が昭和出張所・大神出張所とともに、人員177名、車両18台で消防行政を担当するに至っております。

今、首都東京付近の南関東の地域で、マグニチュード7程度の地震が今後30年以内に発生する確率は70%程度といわれております。また、チリ共和国では、マグニチュード8.8の地震が発生し、700名を超える多数の死者が発生したほか、この地震による津波が日本まで到達いたしました。地震から大切な家族の命や財産を守るためには、市民の皆様と昭島市、昭島市消防団、昭島消防署など関係する行政機関等が一致協力して、地域の防災行動力を更に高めていくことが極めて重要な課題となっております。

拝島駅前自治会の輝かしい60周年には遠く及びませんが、昭島消防署でも一昨年10周年を迎え、署員一同「すべては市民のために」を胸に誓い、決意も新たに全力で昭島市民の安全・安心の確保に邁進して参る覚悟でおります。今後とも、どうか変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

結びに、拝島駅前自治会及び拝島全体の益々のご発展と会員・ご家族皆様のご多幸、ご健勝を心より祈念申し上げまして、拝島駅前自治会60周年のお祝いの言葉とさせていただきます。